

◇◇◇◇◇2019年度 第3回北海道支部研修会報告◇◇◇◇◇

日時：2019年11月30日(土) 13:30~16:30

会場：札幌市生涯学習総合センター ちえりあ2階大研修室

テーマ：自閉症スペクトラム障害の療育と保護者支援について考える

講師：齊藤 真善氏(北海道教育大学札幌校)

概要：齊藤先生をお招きして、自閉スペクトラム障害(ASD)の子どもに療育者・保護者がどのように関わるべきか、事例や実験的研究結果を交えながらお話していただきました。「自閉症児は完全な随伴性への好みを変更することができず、『終生続く完全性追求』に没頭しているとみなすことができる」という結論を初めに述べられ、グラフや図を示しながらそれを裏付けるデータをわかりやすく説明していただきました。次に、関係性を構築していくプロセスについてのお話がありました。子どもの視線が大人に向いたときにおもちゃのボールを動かすことを繰り返し、それに伴って大人は首を動かすなど少しずつ動きに変化を入れていくことで、不完全な随伴性でも子どもが受け入れられていく変化の過程が動画を用いて示されました。子どもの行動にピタッとタイミングを合わせられる予測の力(感度)が大切で、その時間は0.5秒。ミクロな同期ができることがよい療育者の条件ということでした。また、パター的なやりとりを反復することで「台本」ができあがり、次に起きることを子どもが予想することで見通しが現れる、そして安定してきたら少しだけ裏切り、他者を発見できるようにしていく、つまりできるだけ早い時期に人に関心を持てるようにしていくことが重要ということでした。また、対話によって共感し分析していくこと、私たちも半分自閉症の気持ちになれるかどうかが大変重要ということでした。最後に、フロアからASDの視覚優位についての質問がありましたが、カードなどの静止画は大丈夫だが、実は情報量が多くなる動画は苦手という場合もあるので、見える範囲を小さくするなどシングルフォーカスへの配慮をしていくことが大切という回答がありました。自閉スペクトラム障害を理解する上で大変有意義な3時間でした。参加者は76名[うち一般参加17名]でした。

(文責 石川和男)

◇◇◇◇◇2019年度 北海道支部 第4回研修会のご案内◇◇◇◇◇

※参加は事前申し込み制です。支部会員のみご参加いただけます。

日時：2020年2月29日(土) 13:30~16:30(受付13:15~)

会場：札幌市生涯学習総合センター ちえりあ2階 中研修室2

テーマ：ワークショップ：地域における発達支援と就労支援

講師：阿部 洋子先生(北広島市こども発達支援センター)

玉手 美和子先生(北広島市こども発達支援センター)

三浦 文先生(石狩市子ども発達支援センター)

参加費：500円

ポイント数：1.0

概要：第3回研修会(自閉症スペクトラム障害の療育と保護者支援について考える)の学習内容を踏まえて、事例検討会を行います。事例は自閉症スペクトラム障害と注

意欠如多動性障害と診断されている幼児です。本例は乳幼児健康診査にて発達相談を行い、通所施設につながり、その後に医療機関を受診した例で、地域における発達支援と就学支援をテーマに事例検討を行います。はじめに講師から事例の説明を行い、続いて事例に関する質疑応答を行って情報共有を図ります。次にグループに分かれて、事例に関する課題の整理（直接的支援、他機関との連携、保護者支援）を行います（GW1）。後半からはGW1で議論した内容を踏まえて、支援方法の検討と全体共有を行います。特に就学を迎えるまでの期間の支援の方向性や方法を検討します（GW2）。GW2で話し合われた内容を共有した後、ケース会議形式で職種や立場の違うメンバー間の意見交換を行います（GW3）。最後に、サブ講師が総評を行い、本例のまとめとしていきます。（GW：グループワーク）

## — 参加申込方法 —

本研修への参加には事前申込が必要です。下記の要領でお申し込み下さい。

### （1）申込先

受付アドレスは「[cdpkensyu.hokkaido@gmail.com](mailto:cdpkensyu.hokkaido@gmail.com)」です。

件名には「研修会申込」と記載して下さい。本文には（3）のテンプレートをもとに必要事項をご記入の上、メールを送信してください。

### （2）申込期間

2020年1月10日（金）～1月31日（金）

### （3）申込内容（テンプレート）

1）氏名：

2）登録番号：

3）職場：

医療・福祉（通所）・福祉（入所）・相談・学校・その他（ ）

《該当する項目を残して、他を消してください》

4）支援対象：

乳幼児・学齢・青年・成人・老人

《該当を残し、他を消してください》

5）実務経験年数：

6）連絡先メールアドレス：

「[cdpkensyu.hokkaido@gmail.com](mailto:cdpkensyu.hokkaido@gmail.com)」からのメールを受信可能な状態に設定をしておいてください。

### （4）定員

50名（先着順受付）

ただし、締切日以前でも定員に達した場合は受付を終了いたします。

## — 研修会参加に関する注意事項 —

1）士会会費未納者（過年度未納を含む）の参加は認められません。

2）バーコード付きIDカードで本人確認とポイント発行を行いますので忘れずにご持参下さい。

3）当日にIDカードを忘れた場合は、ポイントを発行できません。

4）研修会開始10分以上の遅刻、途中退席、早退の場合にはポイントを発行できません。

## — 参加記録ノートについて（2016年度以前の資格取得者対象） —

- 1) 士会事務局からの案内（郵送物、ホームページ等）をよくご覧のうえ、各自ご対応ください。
- 2) 士会ホームページ上に「【重要】臨床発達心理士資格更新ポイント管理の移行について」が掲載されています。
- 3) 2016年度以前に「参加記録ノート」に貯めていたポイントは、各自でSOLTIシステムに登録する必要があります。
- 4) SOLTI へのポイント登録後も「参加記録ノート」は必ず保管しておいてください。

◇◇◇◇◇**支部役員募集と支部長改選について**◇◇◇◇◇

支部会員の皆様から、2020年度より支部役員を引き受けていただける方を3名程度（研修、会計、広報など）募集いたします。

支部役員は、支部長をはじめ、副支部長、幹事、事務局長、研修、会計、広報に担当が分かれています。任期は2年です。業務に関しては、メールによるやりとりを中心にしながら、直接集まる会議（役員会）は支部研修会開始前に設定するなどして、支部役員を担当される方の負担をできるだけ少なくするように努め、遠方の方でもお引き受けいただけるように運営しています。

役員会は、支部の運営について話し合うのですが、主に支部研修会の計画や内容について検討する場となっています。ですので、支部役員になっていただくと、支部研修会の計画に直接関わることができます。

支部役員の業務は、おおまかには次のようになります。

研修・・・研修の企画書作成、当日の運営などを行います。 会計・・・支部の会計にかかわる業務を行います。 広報・・・支部ニューズレターの作成、発行などを行います。
--

支部役員をお引き受けいただけるようでしたら、お名前、現在のご勤務先、希望する業務（研修、会計、広報のいずれか。質問でも構いません）を北海道支部事務局（cdp.hokkaido@gmail.com）にお知らせください。2020年1月31日（金）までにご連絡をいただけますと助かります。

また、2020年度は支部長が任期満了により改選となります。支部規約上、支部長は支部総会での会員互選を経て決定となります。立候補を検討されている場合は、北海道支部事務局に、2020年3月31日（火）までにお知らせください。

以上よろしく願いいたします。

（北海道支部長 三浦 文）